

ほっかいどう

がい はつ グラフ

北海道開発局広報誌

Vol.48

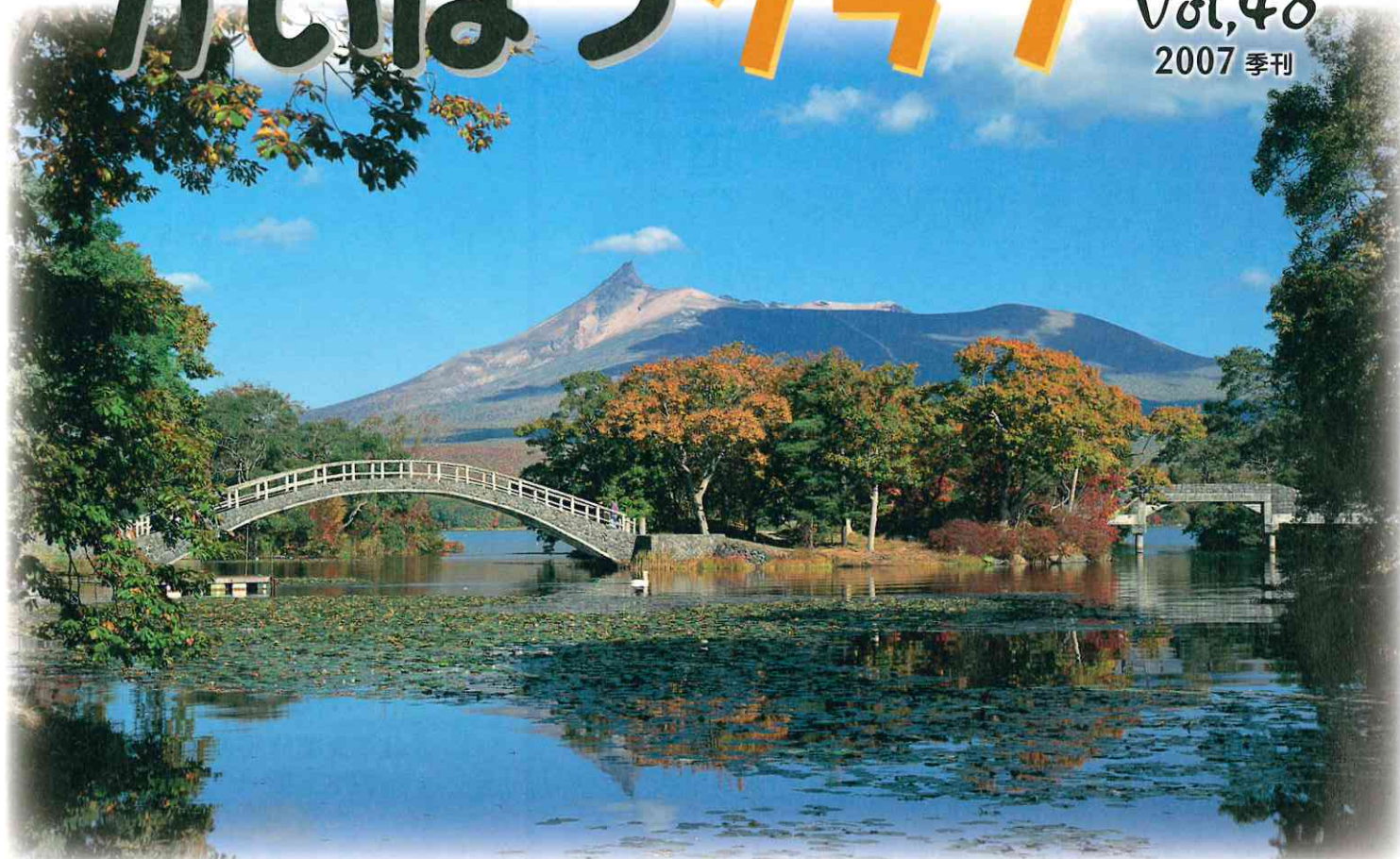
2007 季刊

北海道開発グラフ

通巻第四十八号
二〇〇七年平成十九年九月

発行 北海道開発局広報室

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第一合同庁舎
☎011(709)1311 内線五八二六 FAX 011(709)8995



開発の日々の ひとコマ



春の像



夏の像



秋の像



冬の像

日本初の橋上彫刻『四季の像』

昭和51年(1976年)現在の5代目幣舞橋に架け替える際に、市民からの要望で現代日本の彫刻界を代表する作家4名によって作られました。「春の像」舟越保武氏作、「夏の像」佐藤忠良氏作、「秋の像」柳原義達氏作、「冬の像」本郷新氏作。現在も、エキゾチックな香りを漂わせ、釧路を代表する観光名所の一つとなっています。

「がい はつ グラフ」モニターを募集しています！

■モニターの役割

広報誌発行の都度(年4回発行予定)、以下についてご回答いただきます。

- ・掲載記事についてのご意見、ご感想
- ・今後、取り上げてほしいことなどのご提案

■モニターの任期

平成21年3月31日まで

■応募方法

本誌綴じ込みアンケートはがきに、必要事項をご記入後、投函いただくか、北海道開発局のホームページからも応募できます。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/info/ippan/koho/graph/koshitop.htm>

■応募資格

以下のすべての事項について該当及び同意いただける方

- ①中学生以上の方
- ②無償でご協力いただける方
- ③国土交通省職員以外の方

■募集人数

先着100名

結果については、後日、お知らせします。

【今月の表紙】

駒ヶ岳を背景に湖水と紅葉の彩り、感動の連続——大沼の秋。

大沼国定公園の散策ルートの出発点となる、大沼公園広場。ここから眺められる駒ヶ岳や大沼湖は美しさへの序章。大小126の島々が浮かぶ公園内には、もっと感動的なシーンが連続して広がります。真っ赤なモミジと湖水の色のコントラスト、小さな橋から見上げる秀峰・駒ヶ岳の美しさ、森の中で出会う木々や動物たち……。大沼の秋はまさに特別です。

なお、このエリアはシーニックバイウェイ「函館・大沼・噴火湾ルート」の一部となっています。

「がい はつ グラフ」は北海道開発局のホームページからもご覧になれます。
<http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/info/ippan/koho/graph/koshitop.htm>



「北海道開発グラフ」はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

特集 ● 新たな北海道総合開発計画に関するシンポジウム

地域とともに／漁港を中心とした地域振興の
取組(寿都町)

ちよつとひといき…道の駅／初山別村・美瑛町

グラビア／紅葉にまつまれた豊平峡ダム

開発局の取組紹介／高速道路で料金割引の
社会実験を実施中です

北国賦／写真の世界に生きて
岸本 日出雄さん

開発事業のあゆみ／釧路のシンボル 幣舞橋

お知らせ／毎年11月11日は「公共建築の日」です。

ピックアップ／「防災・技術センター」一般公開
「千代田新水路の竣工式」

局長就任挨拶

—魅力と活力ある
地域づくりを進めます—



北海道開発局長
鈴木 英一

北海道開発局長の鈴木です。

どうぞよろしくお願いいたします。

北海道開発局は昭和 26 年に発足してからこれまで 50 年余り、資源の開発、食糧生産、地域経済の発展、環境の保全、観光振興などに努め、その都度、国の課題解決に貢献するとともに豊かな地域づくりにも大きな貢献をしてきています。これからも北海道に暮らす人達の安全・安心に努めるとともに、魅力と活力ある地域づくりのための社会基盤の整備を着実に進めていきたいと考えています。

特集

新たな北海道総合開発計画に関するシンポジウム 北海道の挑戦

新たな北海道イニシアティブ

グローバル化の進展、自然環境・エネルギー問題、人口減少・少子高齢化など、我が国をとりまく潮流は大きく変化し、時代の大転換期を迎えています。

北海道は、その優れた資源・特性を活かして我が国が直面する課題の解決に貢献することが求められており、そのためにも活力ある地域社会の形成を図ることが必要です。

現行の第6期北海道総合開発計画は、目標年次（平成10～19年度）を迎えており、これに代わる新たな計画の策定に向けて、現在、国土審議会北海道開発分科会において検討が進められているところです。

本シンポジウムは、新たな計画の策定に向けて、国民の皆様とともに今後の北海道開発を考えていくことを目的として、各界で活躍

する有識者を迎え、平成19年8月25日（土）、札幌市内のホテルにおいて開催しました。当日は、北海道開発分科会計画部会長の南山英雄氏からのオープニング・リマークス、北海道開発分科会長の丹保憲仁氏からの基調講演の後、北海道大学大学院経済学研究科教授の濱田康行氏をコーディネーターとして迎え、5名のパネリストによるパネルディス

カッションを行いました。その概要を紹介します。



オープニング・リマークスを述べる
南山 英雄 氏（みなみやま ひでお）
国土審議会北海道開発分科会計画部会長
北海道経済連合会会長

【基調講演】

21世紀の日本と北海道

人、食、水、エネルギー、都市化

国土審議会北海道開発分科会長

北海道大学名誉教授 丹保 憲仁 氏



我々は21世紀という特別な時代に巡り合わせており、今までの常識がほとんど通用しなくなるような時間を過ごしています。近代の大成長が、地球を相対的に小さなものにしてしまい、その結果、地球規模で文明の大都市化やグローバルゼーション（成長領域と成熟領域に二分化）が発生しており、成熟部分はもう近代を越え、すなわちポストモダン（注1）に入ったと考えられます。人類は今、非常に苦勞し始めているのです。

20世紀は何だったのでしょうか。それは、あらゆるものが激変した時代です。世界人口は16億人から60億人と4倍、GDPは17倍、1人当たり所得は4倍強になりました。このためのエネルギー消費は11倍、水の消費も10倍となりました。灌漑農地の増大により水源の枯渇が生じ、水質汚染も引き起こしています。エネルギー資源もどんどんなくなってきました。一番きついの石油で、次は、レアメタル（希少金属）などの非再生資源です。また、化石エネルギーの使い尽くしの結果、地球温暖化が始まってしまいました。わが蝦夷が島・北海道は、このような中で何をすべきなのでしょう。北海道の人口は、フィンランド、デンマークなどとほとんど同じです。札幌は、健全な地方大都市（メトロポリス）として仙台、広島、福岡とともに、東海道メ

ガロポリスの外に文物を展開する分散集中型の地域核となるでしょう。同時に、構造化し情報化した集落が北海道中に明確な機能をもって札幌と連携した交通ネットワーク上に配列されなければなりません。つまり、農山漁村は、散村ではなく一定以上の文化・情報・産業レベルを持ちうる集村が必要であると考えます。集村による利得の例は、生産施設・設備や社会基盤施設の集約化と共同運営、高学歴・高能力の人材確保、とくに高学歴・専門職の女性の定着、ITデバイスなどの解消などであり、特に北・北海道では、冬季の活動維持やオペレーションセンターの総合化などが不可欠であろうと思えます。

もう一つ大事なことは、北海道が日本のために何ができるかということです。それは、①世界スケールの人材の育成、②「北海道大学院」の設立による自前の専門家の育成と地域連携、③エネルギーの自立化、④農業基地としての一次生産の確保と二次農工業生産の研究開発と市場形成（集村化の上に築かれた複合型パ

イオコンビナート）、⑤国立北海道博物館の設置（日本で数少ないアイヌ民族などの少数民族の歴史を持ち、近代化の先駆けとなった、アメリカ型西欧文明準拠と北に備えた屯田兵による北海道開拓の特別な歴史を持つ）などに集約されると考えています。

注1：「モダン（近代）の次」との意味であり、多くの場合、資本主義の高度化とグローバル化、情報化などの社会状況を意味する。

注2：持続可能な発展

北海道の挑戦

～新たな北海道イニシアティブ～

パネルディスカッション



テーマ1
グローバルな競争力ある
自立的安定経済の実現」

濱田（コーディネーター） 本日のパネルディスカッションは、「グローバル競争の中で北海道の競争力をどう維持し、高めるか」を第1のテーマとし、第2のテーマを、「北海道が誇る環境財産を守りながら、いかに第1のテーマに取り組みか」ということで進めていきます。

最初にグローバル化について、それぞれのご専門の観点からご発言願います。

有塚 北海道経済の自主自立は、北海道が一番得意としている農業のクラスター化を産学官一体で進めるべきというのが全道民の哲学と考えます。平成12年、農業基本法ができた矢先に、北海道農業は、口蹄疫、食中毒、BSEと事件が連続し、国民、消費者から信頼を失いかけてきました。その対策が「トレーサビリティ」（注3）です。また、日本では規格外となる大型サイズの十勝の長いものを台湾に持って行ったところ、品質の良い薬膳料理用として大ヒットしました。品質保

アメリカ人の場合はアクティブホリデー、アウトドアスポーツに興味を持ちますが、ヨーロッパ人はゆっくりしたい、文化的なホリデーを過ごしたいと考えます。

持のために、HACCP（注4）認定を目指して一生懸命品質管理をしています。このように海外で農産物の競争力を確保するためには、品質で勝負する、安全・安心の究極を求めるといふ戦略が必要です。

孔 今、中国、台湾、香港、シンガポールの皆さんは、北海道にとっても熱く心を躍らせています。雪、涼しい、寒いだけでなく、様々な北海道の魅力がテーマに、熱心なリピーターを育てることができま

す。急成長した中国企業は、社員旅行や総会を外国で行う傾向があります。北海道には大自然、リラクセスできる環境を提供できる魅力があります。また、中国人観光にとって買物は大切です。中国で12億枚普及しているデビット方式の銀行カードが利用できると思

います。

アルヌー 日本全体のセールスポイントですが、ヨーロッパに比べて安全・安心して観光ができること、サービスのレベルが高いことをどんどんアピールすべきです。ただし、外国人はその出身によって期待するところが違うので注意が必要です。オーストラリア人

の真ん中ですごく条件の悪いところなのに、1980年代の初めからの投資により、世界最大の掘り込み港湾、自由貿易ゾーンを開発し、国際拠点になったのです。東アジアの北部では、沿海州は袋小路で、ペルシャ湾の入り口のドバイ同様に、北海道がゲートになる素質は十分にあるのです。特に苦小牧から千歳、それから札幌にかけてのエリアは、長期的に見れば十分ポテンシャルのある、素質のあるエリアだと思っています。



〔パネリスト〕
有塚 利宣氏（ありつか としのぶ）
帯広市川西農業協同組合
代表理事組合長
1993年帯広川西農業協同組合代表理事組合長、2003年から現職。他に十勝地区農協組合長会会長（財）十勝圏振興機構理事長、（株）帯広市農業振興公社代表取締役、川西協同振興（株）代表取締役、（社）帯広物産協会会長。



〔パネリスト〕
孔 怡氏（こう い）
テレビ・ラジオパーソナリティ
上海出身。1985年上海外国語大学日本語科卒業。テレビ・ラジオのパーソナリティとして活躍するとともに、大阪市上海市都市計画シンポジウム（大阪市）パネリスト、新都市観光振興推進計画策定委員会（京都市）委員、外国人から見た観光まちづくり懇談会（国土交通省）委員などを歴任。（有）天怡の代表取締役。



〔パネリスト〕
アルヌー・クリストフ氏
光塩学園女子短期大学保育科准教授
1988年ネブラスカ州立大学外国語学部卒業。札幌フランス文化センター・安藤グループ（三共）トレーディング（株）貿易部長、光塩学園女子短期大学企画室長などを現在に至る。2005年北海道開発局夢未来懇談会の委員も務める。



〔パネリスト〕
家田 仁氏（いえだ ひとし）
東京大学大学院工学系研究科教授
1978年東京大学工学部土木工学科卒業。専攻は社会基盤学。西ドイツ航空宇宙研究所交通研究部客員研究員、フィリピン大学交通研究センター（NCTS）客員教授、東京大学工学部教授を経て現在に至る。国土審議会北海道開発分科会計画部会委員も務める。



〔パネリスト〕
丹保 憲仁氏（たんぼ のりひと）
国土審議会北海道開発分科会長
北海道大学名誉教授
1957年北海道大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了。専攻は環境工学。'65年工学博士。フロリダ大学化学科研究員、北海道大学工学部教授、北海道大学総長、放送大学学長を歴任。現在、北海道開拓記念館館長も務める。



〔コーディネーター〕
濱田 康行氏（はまだ やすゆき）
北海道大学大学院経済学研究科教授
1980年東北大学大学院博士課程修了（経済学博士）。専攻は現代経済経営で、金融論を専門としており、著書に「金融の原理」など多数。国土交通省将来展望研究会委員、国土交通省苫小牧東部地域開発検討会座長の他、国土審議会北海道開発分科会計画部会委員も務める。

注4：米国で宇宙食の安全性を確保するために開発された食品の衛生管理の方式。我が国においてもHACCPの概念を取り入れた承認制度が定められている。

注3：食品が生産から販売にわたってどのようなルートを通ったか把握できること。



会場の様子

全国で一番悪いという結果ですが、いろんな国と比べ、高緯度で低温型の国の中でくると北海道は一番優秀ということになります。重要なことはこれに一喜一憂して北海道が日本の平均を追い求めることではなく、同様な地理的条件にある欧州・北米諸国の中でトップランナーとなることを目指すことです。特に、自動車ベースでの低炭素を目指す場合、モビリティ(注5)の高さは活力の源泉ですから排出量全体を押さえるのではなく、使用する原単位を減らしていくということが重要です。



パネルディスカッション

会は、成長型の世界と組んで成熟を確かなものとしていき、世界が近代型の成長を終えて安定状態になったときには、日本は文明でも文化でも最先端のポストモダンの社会をつくっているようにするこ

テーマ2 「地球環境時代をリードし自然と共生する持続可能な地域社会の形成」

濱田 北海道の農畜産物が評価されるベースには、北海道の良い環境で作ったものはおいしい、安全に違いない、という道外の方の評価があります。北海道の自然・環境を維持しつつ北海道の競争力を向上させるサステイナブル(持続可能)な試みを全国に先駆けて北海道がやりたい。やれそうなのが北海道ですと言いたい、というのが第2のテーマの心です。

では、有塚さんからそれぞれお話ししたいと思います。

有塚 農業、林業、漁業の1次産業が環境を守る産業と言われています。この環境を守る産業が更に発展するために余剰農産物からエタノールを作ろうと思っています。それは、資源の乏しい日本が大事に資源を活用しながら環境産業に位置付けていくことであり、それにより地方にも産業が起り、雇用が創出される。決して貴重な食料を油にするという発想からではありません。

孔 アジア、特に中国はどんどん

丹保 北海道は、家庭の省エネルギー対策として断熱住宅の普及は断然早い。また、北海道の人口が減少したときに、環境も含め高いレベルの生活水準を維持するためには、小集落において農業、学校、幼稚園などのあらゆる情報を総合的に扱える地区の専門家を確保したり、モビリティの面から鉄道と道路の相互補完を確保することなどが重要であり、今からそのような議論をきちんとしていく必要があります。

濱田 私たちは今、新しい開発計画の素案を作っており、そこで議論されている焦点は3つあります。これまでは、政府は政府、地方は地方、企業は企業、NPO・NGOはそれぞれというように、ばらばらに北海道のことを考えてきました。しかし、これから10年の北海道をどうするかについて「共有のビジョン」を持つとういうのが第1のスローガン。北海道がよその地域に追いつく、遅れ取り戻しの発想でなく、むしろ国の課題に「率先して挑戦する」というのが第2のスローガン。そのために先駆的なモデルをつくり、まず北海道がやってみますというメッセージである「北海道イニシアティブ」が第3のスローガンです。特に、

経済発展し、日本の20〜30年前の高度成長期と同様に、水や空気が汚染され、食べ物の安全性が問われています。日本のお米が中国に輸出され、中国の富裕層は、日本で売っているお米より数倍高い値段で消費しているのも事実です。北海道に来て、自然や安全な食べ物を通じて、環境を破壊してはいけないという意識を持って帰ることにできれば、北海道のアジアに対する大きな貢献の一つだと思います。

アルヌー 北海道には美しい自然がありますが、それだけではアピールできません。キャンプ場、ラフティングやトレッキングの場が増え、知床が世界中に知られるようになりました。また、シーニックハイウェイや道の駅も素晴らしいのですが、外国人用の案内が整備されていないと北海道の素晴らしさがわかりません。南米では、ウルグアイが「南米のスイス」と呼ばれています。北海道は「アジアのスイス」と呼ばれるように力を入れて、夢を持って未来に向かうことが大事だと思います。

家田 我が国のCO2排出量は13億トンで、1人1日当たり27キロです。家庭部門をみると北海道は

環境問題等々では、北海道から発信するというのが非常に有効なことだと思えますので、「北海道イニシアティブ」を大事にしていきたいと思っています。

新たな北海道総合開発計画の策定に向けて

(皆様からのご意見を募集しています)

国土交通省では、平成20年度にスタートする新たな北海道総合開発計画の策定に向けて、現在、国土審議会北海道開発分科会において本格的な調査審議を進めています。

新たな計画の策定に当たっては、グローバル化の進展、自然環境・エネルギー問題、人口減少・少子高齢化の進行など、我が国を取り巻く環境の変化に対応し、北海道の優れた資源・特性を活かし、我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るという観点が重要になっています。

国民の皆様とともに今後の北海道開発を考えていくため、新たな計画の具体的な施策等について皆様からのご意見を募集しています。

詳細は国土交通省北海道局ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/hkb/newplan/index.html> をご覧ください。

問い合わせ先：国土交通省北海道局参事官付

TEL 03-5253-8111 (内線52222)

注5：交通移動性



ちょっとひといき・・・

道の駅

道北ブロックに2駅オープン!

4月に、びえい「丘のくら」と6月に「☆ロマン街道しょさんべつ」がオープンしました。観光拠点として個性豊かな風景を眺め、旬の特産物を買ひ、地産地消にこだわる食事、スローライフが楽しめます。



びえい「丘のくら」

<道道 天人峡美瑛線 美瑛町> 平成19年4月28日オープン



あじわいのある石蔵造りが特徴

道の駅びえい「丘のくら」は、旭川市から国道237号を南へ約25kmほど行ったJR美瑛駅に隣接した中心街にあります。外観はあじわいのある石蔵造りで、館内にはレストランや軽食コーナー、体験コーナーがあります。2階のギャラリーではさまざまな展示イベントが催され、併設されている「ふれあい館・ラヴニール」は宿泊施設を備えています。レストランでは、美瑛産小麦と野菜を使った「石窯ピッツァ」「玉ネギの丸焼き」、男爵イモを使った「ニョッキグラタン」がおすすめ。軽食コーナー（丘のくら）では、美瑛産ジャガイモを使った「コロッケ」「揚げイモ」「フレッシュポテトチップス」や濃厚な美瑛牛乳を使ったソフトクリームも販売しています。特産品販売コーナーでは、町内農家の手作り味噌やトマトジュース、乳脂肪分3.9%で本来の味を楽しめる美瑛牛乳、美瑛産小麦や小豆を使ったどら焼き、まんじゅうが販売されています。近郊には美瑛の丘や美しい花畑、雄大な十勝岳。また、ちょっと足を伸ばして美しい白樺並木を見ながら、日本百名山十勝岳山麓の白金温泉などを楽しみ、道の駅を拠点としてゆったりとした時を過ごすのはどうでしょうか。安井事務局長の話では、今では残り少なくなった美瑛軟石造りの穀物倉庫を道の駅として使用しているのがこだわりだといいます。また、事務局長のイチおしの商品「香麦うどん」は、美瑛産の秋まき小麦「ほくしん」と春まき小麦「春よ恋」をブレンドして麦の香を感じる美味しさになっているそうです。また、道の駅に登録されて、来場者が約10倍も訪れるようになり、うれしい悲鳴を上げているとのこと。びえい「丘のくら」を「美瑛の食・景観の新たな情報発信基地にしていきたい」と話していました。



事務局長の安井さん



香麦うどん (1袋) 200円

上川郡美瑛町本町1丁目9番21号
Tel. 0166-92-0920

「スタンプラリー 2007」の応募期間は2007年4月14日(土)～2007年11月3日(土)までです。「スタンプラリー 2006」の賞品対象ラリーは終了しましたが、全駅完全制覇の認定は続きます。全駅完全制覇「複数年コース」の認定申込期間は、2005版スタンプは2007年3月31日まで、2006版スタンプは2008年3月31日までです。

詳細は、北海道開発局のホームページからご覧になれます。http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_doro/station/index.html



☆ロマン街道 しょさんべつ

<国道 232号 初山別村> 平成19年6月1日オープン



みさき公園内にある綺麗な建物

道の駅「☆ロマン街道しょさんべつ」は、留萌市から国道232号を北へ約75kmほど行った、日本海オロロンラインの中間に位置しています。施設は、初山別村最大の観光スポットであるみさき公園内にあります。約20haある公園全体が道の駅に指定され、道内の道の駅では2番目の広さになります。同じ敷地内には、温泉宿泊施設「岬センター」、観光物産館「ともしび」、道北最大級の「しょさんべつ天文台」、オートキャンプ場、パークゴルフ場、ゴーカート場があり、家族連れでのんびりと楽しめます。岬センターには、日本海に沈む夕日と天売島、焼尻島、利尻島を望みながらゆっくりと楽しめる露天風呂があります。しょさんべつ天文台では、肉眼の8600倍の集光力を誇る反射式望遠鏡が設置され、星の観察ができます。また、村独自の「My Stars System」で星に自分の好きな名前を付けることができます。道の駅の売店では、ハスカップのジャムやシロップ、ミニトマトの3色ジャムなどの特産品が販売されています。また、初山別産のふくを使った「ふくらーめん」が味わえます。他にも岬センターのレストランで



京都から来た植野さん(右)と友人は、初山別村、羽幌町、苫前町3町村の調理人で考案された「日本海えびタコススープ餃子(ぎょうざ)」(ミニフグ井付き)も味わえます。前日にフェリーで小樽に着き、朝早く稚内に向かう途中の植野さん(京都府在住)とお話を伺いました。「初山別には休憩で立ち寄りしました。北海道の道路は広く走りやすいです。途中の小平鱈番屋で友人と待ち合わせを情報交換してきました。名物のスープ餃子はおいしかった」と笑顔で答えてくれました。



日本海えびタコススープ餃子 980円

苫前町初山別村字豊岬153番地1
Tel. 0164-67-2525

地域と ともに

漁港や漁業の体験学習をしよう! 漁港を中心とした地域振興の取組 (寿都町)



地引き網体験をする札幌市東白石中学校の生徒

●漁業が基幹産業のまち
寿都町は、古くはニシン漁で栄えた、漁業を中心とした水産業のまちです。回遊性漁業資源の減少などから、現在は沿岸漁業に加え、ホタテやカキ養殖に代表される「育てる漁業・資源管理型漁業」にも力を注ぎ、新たな漁業基盤づくりを進めています。

●総合学習で漁業体験
また、漁業協同組合や生産者は直販・宅配などにも積極的に取り組んでいます。

●今後の取組
この取組に対し小樽開発建設部では、寿都町の要請を受けて講師の派遣などの協力を行っています。



体験乗船をする札幌市東白石中学校の生徒

200名からスタートした漁業体験学習では、「見る・触る」を基本として、漁港内の見学、漁船の体験乗船や地引き網による漁業体験のほか、漁業学習講座として漁港の役割や歴史、漁業を取り巻く環境などの講義も行っています。初めての漁業体験に感動し、新鮮な魚を食べ、「今まで食べたことのないおいしさ」と生徒たちには好評です。今年の6月には大阪府の高槻高等学校の修学旅行生を受け入れるなど、毎年2〜3校の生徒を受け入れており地域に根付いた取組となっています。

●地域一体の取組
総合学習の受け入れには、寿都町や漁業協同組合などが漁業学習講座を行い、漁業者指導による地引き網体験、商工会では地元の食材を使った食事の提供など、地域一体となつて取り組んでいます。さらに寿都町では、漁業者を中心とした「寿力キ・ふるさと祭り」や地元産業団体主催の「寿都港・おさかな市」により、地元の豊かな海産資源を提供するイベントを開催しています。イベント参加者には1ピターも多く、開催日には4千人を上回るほどのにぎわいとなつており、地域が一体となった地域振興が着実に根付いてきています。



寿都町役場 瀧山参事

●今後の取組として、寿都町役場の瀧山参事は「民間事業者の方々にも積極的に関わりを持っていただき、また、寿都町で表現できない部分については、近隣町村との連携や、寿都町観光交流センターを中心に漁港に隣接する優位性を生かし、海との関わりをサポートしながら地域全体の価値を高めたい」といいます。



紅葉にまつまれた 豊平峡ダム

豊平峡ダムが誕生して35年（1972年完成）。札幌市民約189万人の水道水をまかなう水がめになっており、また水力発電によって電気を供給。さらに洪水を調整する役目も担っています。この多目的ダムとともに生まれた定山湖は、四季を通じて美しい姿を見せてくれます。特に紅葉の時期は素晴らしく、展望台からの眺めは絶景です。

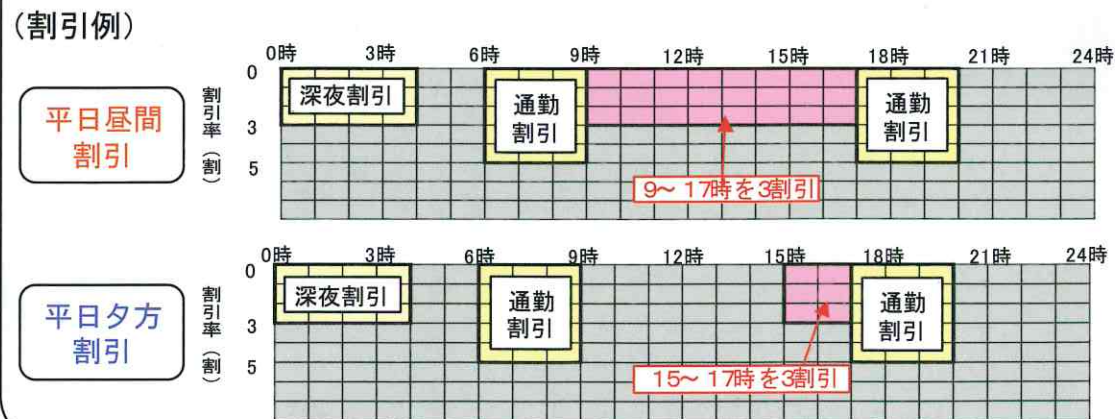
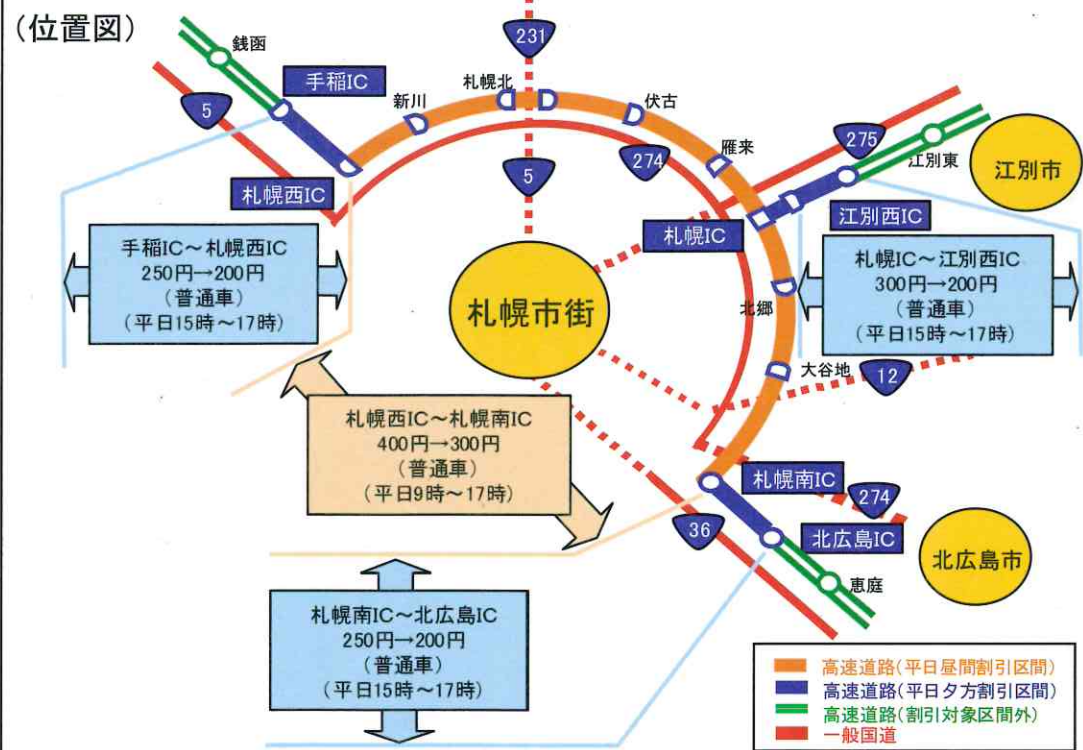
豊平峡ダム・データ

豊平峡ダムは定山溪温泉から5kmほど上流にあり、石狩川開発建設部が管理しています。高さ（堤高）102.5mのアーチ式コンクリートダムで、堤頂長は305mです。総貯水量は47,100,000m³、発電は最大出力で50,000kW、流域面積は159km²で放流設備として8つの水門を備えています。

高速道路の料金社会実験の内容

実験期間	平成19年8月20日(月)から年内(予定)	
実験内容	①平日昼間割引	②平日夕方割引
対象区間	道央道 札幌南IC～札幌IC 札幌道 札幌IC～札幌西IC (均一料金区間)	道央道 北広島IC～札幌南IC 道央道 札幌IC～江別西IC 札幌道 札幌西IC～手稲IC
対象時間帯	平日昼間 (9:00～17:00)	平日夕方 (15:00～17:00)
対象車種	ETC車	ETC車
割引内容	料金3割引	料金3割引

※1 割引後の料金は50円単位の端数処理を行います。
 ※2 他の時間帯割引との重複適用はなく、全ての割引の中で割引額の最も高いものが適用されます。
 ※3 ETCシステムにより高速道路を通行する車両で、かつ、対象区間内のICを出入口とし、入口または出口の料金所(本線料金所含む)を割引内容の時間に通過する車両(全車種)が割引対象となります。



通勤割引、深夜割引のない昼間の時間帯が、割引実験でおトクになります。
 ETCをつけていない方、この機会につけてみませんか？
 詳しくはホームページからご覧になれます。http://www.etc-hokkaido.com/

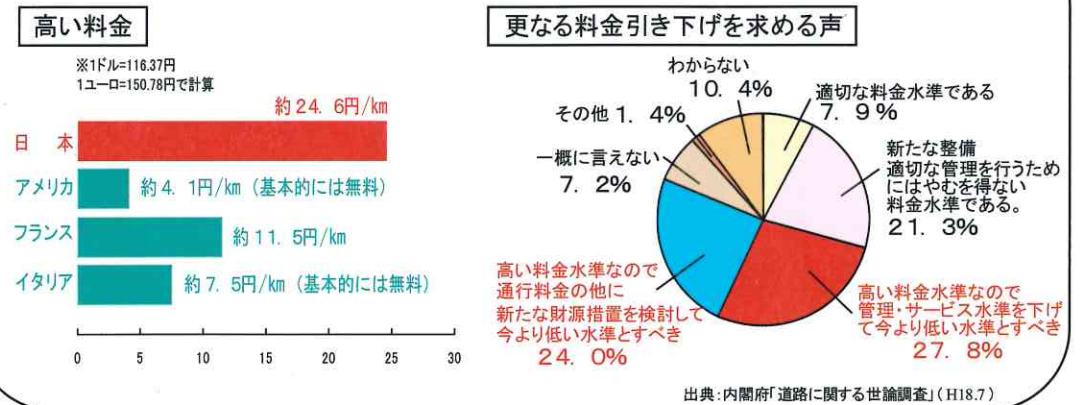
国土交通省では、都市部への交通集中による深刻な渋滞の解消、地域活性化の支援、物流の効率化などの政策的な課題に対応するため、高速道路の料金割引社会実験を今年6月より順次実施し、料金引下げに伴う効果と影響などの把握を行っています。

一方、北海道においても、一般道路の交通混雑や沿道環境悪化などの交通課題が見受けられる地域があります。

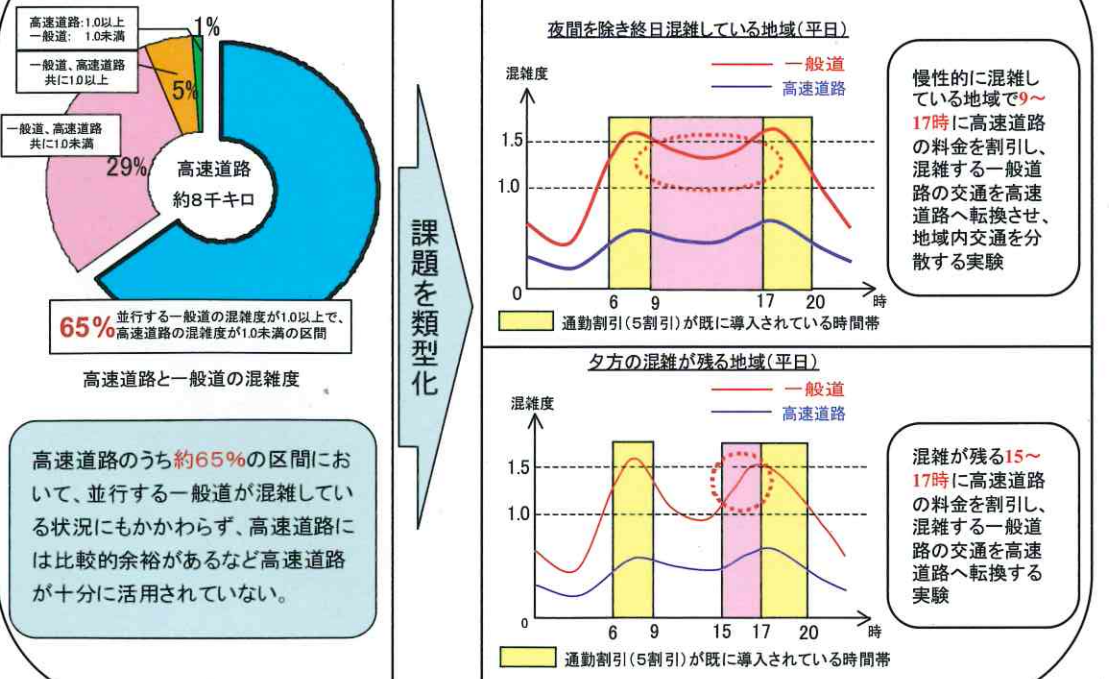
そのため、「北海道高速道路料金社会実験協議会」※では、地域活性化の支援として、国道に並行する高速道路を有効活用し、一般道路の交通課題を解消・緩和するための高速道路料金割引の導入に向けた社会実験を、以下のとおり実施しています。

なお、今年度の実験の効果に基づいて全国的に実施する平成20年度以降の新たな措置の内容が検討されることとなっています。

日本の高速道路料金の現況



地域の現状と課題



※ 北海道高速道路料金社会実験協議会
 北海道開発局、北海道、札幌市、江別市、北広島市、北海道警察、NEXCO 東日本北海道支社

これらを実験を行う



DRAMATIC HOKKAIDO
魅惑の大地シリーズ「一瞬の輝き」より
阿寒町鶴岡村 釧路川のタンチョウワソル

'06.12.12 6:00AM 気温マイナス18度。空が白み始める。日の出の瞬間、低い斜光がわずかに川面に照らす。樹氷が白く浮かび上がる木々の下、水面から蒸気がゆらゆらと立ち上がる。タンチョウの息づかいが微かに伝わってくる。走る緊張感。高揚感にしばし寒さを忘れる。



Profile プロフィール
岸本 日出雄 (きしもと ひでお)
網走国定公園サロマ湖のある佐呂間町生まれ。15歳の時、札幌へ転居。1980年(株)札幌コマースフォトを設立し、代表取締役となる。現在カメラマン9名。
(社)APA日本広告写真家協会正会員、日本写真芸術学会会員。
現在、デパートのファッションカタログ等を手掛けるほか、'06年3月にスタートしたJTBのポータルサイト「BEST! from 北海道」と契約。
*北海道の旬を撮る岸本日出雄の世界*のタイトルで、随時作品を発表している。
[ホームページ] <http://www.sapporo-cp.co.jp/>
<http://www.kishimoto-hideo.jp/>
<http://www.bfh.jp/> (BEST!from 北海道)
[メールアドレス] kishimoto@sapporo-cp.co.jp



PHOTO COLLECTION

影が可能となるなど、長所が多々あるのも確か。私自身もデジタルを愛用しています。
機材の変化だけでなく、私の得意分野もここ何年かで違ってきています。4年前のある時、田舎の同級生に「サロマ湖にもオオワシの巣があるんだけど、撮って見てよ」と言われました。生憎、サロマ湖では撮影できなかったのですが、せっかくだからと、羅臼へ行き、船上から夜明け時のオオワシを狙うことにしました。真冬の国後島から昇る朝日をバックに飛来するオオワシの迫力は圧巻でした。加齢とともに自然の魅力に目覚めた瞬間でした。
女性を専門とするスタジオを保ちながらも、野生動物も含めた北海道の自然を撮ろうと決めました。自然と本格的に対峙し始めてほんの数年には満たない私でもひしひしと感じる気象の変化があります。それを目の当たりにし、何かに背中を押される思いで、スケジュールと天気と振り回されてもめげずに、故郷の道東を始め道内各地を撮影に走り回っています。

Essay from hokkaido



写真の世界に生きて

株式会社 札幌コマースフォト
代表取締役
岸本 日出雄

Kishimoto Hideo



'06.11.16 知床半島 ウトロ。台風並みの低気圧が通過。自分も機材も吹き飛ばされそうな風の中で遭遇した巨大な大波。



'05.2.20 根室海峡沖。氷の上をオオワシ、オジロワシが羽根を大きく広げ精神な姿で飛び交う。

まずは、写真を職業とするに至ったきっかけから。学生時代、写真部の活動で部員といっしょに日高山脈の麓の寒村に入り、人々の生活ぶりをドキュメンタリータッチで撮影し、学生の写真展に発表しました。全国版のテレビで紹介された私の作品を見た写真家が本格的にやってみないかと声を掛けてくれました。報道か広告か、決めかねるままに誘いに乗り、とりあえずプロになろうと決めたのです。
当時(70年代後半)、高度成長とともに広告宣伝の媒体が多くなり、写真業界は活気に溢れていました。篠山紀信さん、立木義浩さんといったスター写真家が活躍し始めた時代でした。中でもスターの一人、藤井秀樹さんの化粧品ポスターとの出会いが強烈でした。それが広告、特に女性を撮る写真家を目指す決め手となりました。東京と違い北海道では一つの分野だけといった贅沢は許されませんでした。さまざまなジャンルの写真を撮りました。ものを実際に見る以上にリアルに撮る技術を出向先の大手広告代理店・電通でみっちり仕込んでもらったのもラッキーだったといえます。ですが、本業はあくまでも人物、女性ということに拘り続けました。
1980年、今の会社を立ち上げました。ラッキーといえば、独立とともに高度成長に向かっていた時代の流れに後押ししてもらえたこともあげられます。外人モデルをモチーフとした写真展を東京で開催しましたし、海外ロケも数え切れないほど経験することができました。スタッフにも恵まれ、万全といわないまでも足場を固めることができました。スタッフも育っています。
そして現在、デジタルカメラの登場で写真業界は大きく変貌を遂げようとしています。プロに対応できるのは先のことと思う間もなく、技術の進歩はずさまじく、瞬くうちにプロもデジタルの時代となりました。厳密なところで、仕上がりには差はありますが、短所ばかりでなく、フィルムでは撮れない場面の撮り方も育っています。



スタジオ風景

釧路のシンボル 幣舞橋 (ぬきまいばし)



昭和51年に完成した現在の幣舞橋

釧路川により二分されている釧路市の南北両市街地を結ぶ、市内交通の要衝幣舞橋。道央からの幹線道路である国道38号の終点として、また根室方面へ向かう国道44号とのジャンクションとして、道東の産業・経済・文化の発展に大きな役割を果たしてきました。日本初の橋上彫刻「四季の像」があり、釧路を代表する観光名所としても知られています。

最初の橋は、民間で架けた「愛北橋」

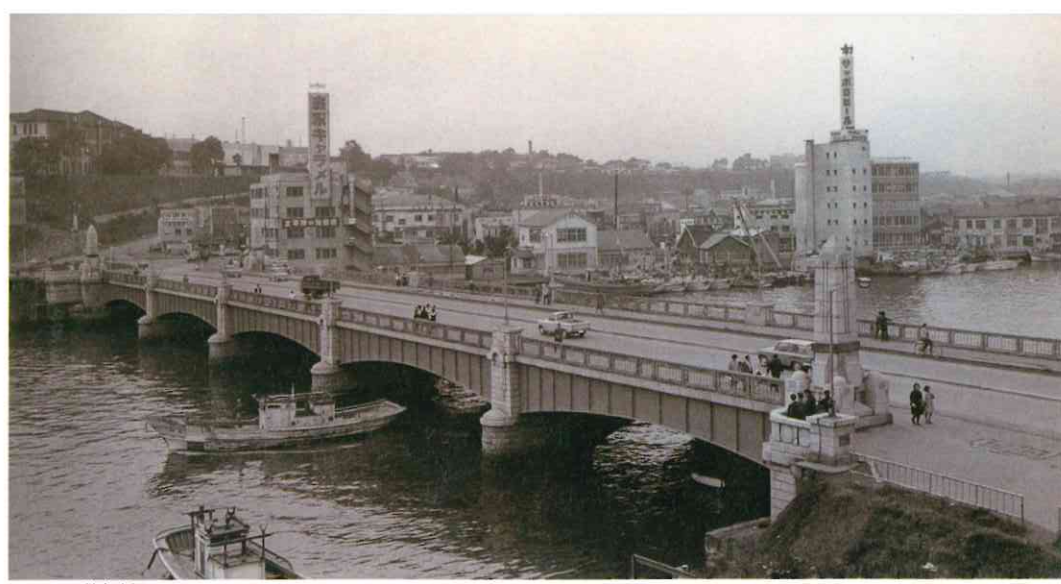
釧路川に最初に橋が架けられたのは、明治22年(1889)のことでした。酒類醸造や米穀、海産物商などを手広く営んでいた商社「愛北物産」が、自費で架橋したのが「愛北橋」でした。幅3.6m、長さ216mと当時は全道一の規模でしたが、わずか9年で倒壊し、再び渡船に戻ることになりました。

橋は、倒壊直前の初代幣舞橋とされています。

悲願の永久橋

初代幣舞橋が倒壊した明治42年(1909)に、新しく架け替えられたのが二代目幣舞橋でした。全長は初代と同じ203m、幅4.5mの木橋で、「簡易トラフ」と呼ばれる木組みを11連つなげた簡単な構造でした。そのため、大正2年から3年にかけての冬の結氷や、春の増水による流木の衝突などにより、建設からわずか6年目の大正4年(1915)に倒壊し初代よりさらに短命となりました。

三代目の幣舞橋は、大正4年(1915)に架けられ、長さは201m、幅7.2mと木橋ながら旧橋の二倍近い幅員がありました。この時期、第一次世界大戦前後の好景気により釧路の発展は著しく、大正11年に町から市へと昇格しました。そこで積年の悲願であった永久橋(鋼橋)による架け換えが決まり、



4代目の幣舞橋

三代目幣舞橋は四代目の仮橋が完成するまでの9年間しか利用されませんでした。

豊平橋、旭橋とともに「北海道三大名橋」へ

四代目の幣舞橋は、初の永久橋として約4年の歳月をかけて昭和3年(1928)10月に完成します。全長は両岸の埋め立てにより113mと半減しましたが、幅員は三代目のさらに2.5倍の18.3mとなり、初めて歩道と車道を分離し車道も片側2車線となりました。道内で初めて鉄筋コンクリートが使用され、デザインも優雅なアーチを描くヨーロッパ風で、頑丈だけでなく美しさも兼ね備えているとして高く評価されました。戦前・戦中・戦後を通じ、その荘重で優美なデザインから長く市民に親しまれ、札幌の豊平橋、旭川の旭橋とともに「北海道三大名橋」と称されました。

春から夏にかけて霧にかすみ、幻想的な詩情を漂わせる幣舞橋は、歌や絵画などのテーマとして取り上げられてきました。原田康子のデビュー作となった「挽歌」の舞台となったり、昭和40年代になるとたびたび歌謡曲にも歌われるようになり、美川憲一

の「釧路の夜」を筆頭に数々のヒット曲も生まれました。この橋も空襲による破損や車両の大型化と急激な交通量の増大から、昭和51年には約半世紀に及ぶその輝かしい使命を終えることになりました。

先代の面影を残す美観と優れた走行性を併せ持つ五代目橋

現在の五代目幣舞橋は、昭和51年(1976)11月に、わずか1年5カ月という異例のスピードで完成しました。架け換えに際して釧路開発建設部では、市民参加でイメージを討議し、親柱やアーチ型など広く市民から愛された先代の橋の面影を残しながら、機能性と芸術性も配慮する新しい試みを採用しました。全長124m、幅員33.8mで、構造形式は美観と走行性に優れている最新の「三径間連続鋼床版桁橋」で、当時の橋梁技術の粋を集めたものとなりました。橋の高欄のデザインは釧路市出身の彫刻家・米坂ヒデノリ氏によるハマナスをモチーフとし

た模様「花に囲まれた道」を採用。橋の欄干には、日本初の橋上彫刻となる、日本を代表する4人の彫刻家が製作した春・夏・秋・冬を表現する「四季の像」を配し、エキゾチックな香りを漂わせています。

晩秋の広い太平洋を背景に空全体を紅に染める夕陽、夏のうっすらと白い霧中に浮かぶ橋影。夜には橋全体がライトアップされ幻想的な雰囲気、いままも釧路を代表する観光名所として知られています。



幻想的な雰囲気の中を渡る幣舞橋

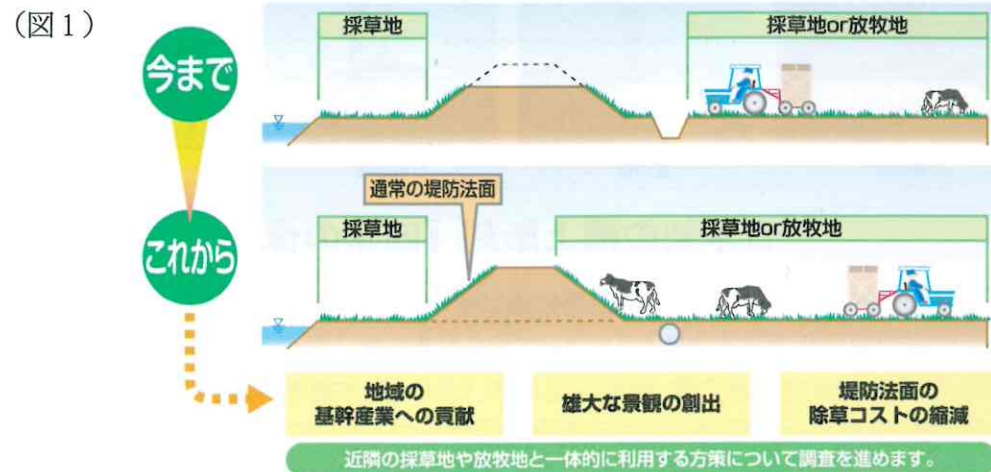
参考文献・外部リンク

- 北海道道路53話 VI橋のいろいろ 編集・発行 北海道新聞社
- 釧路観光協会ホームページ

東京都在住 加藤裕さんからの質問

47号特集の「堤防法面の採草・放牧地への活用検討及び刈草の有効利用」(図1)で、排水路を地下に埋め排水管にすると、堤防の安全度が下がるのでは？自然への影響及び管理面も問題では？

また、採草地として利用するなら堤防断面を大きくして、緩傾斜にした方が「蹄による影響の有無」など気にせず済むのでは？



当局からの回答

排水路を地下に埋め排水管にすると堤防の安全度が下がるご心配、自然への影響や管理面の問題などのご質問をいただきありがとうございます。

排水管は、埋設する位置を工夫すること、周辺の牧草地など、耕作地の暗渠(地中に埋めた排水)整備が進められた地域でもあり、これらとつなぐことで堤防への安全性を下げることがないように考えました。

また、蹄の影響は実施を含めて確認を進める必要があると考えており、現在、検討を進めている場所では、堤防の傾斜が比較的緩やかな、高さ1に対して水平方向に5の割合になっています。そのようなことから、放牧を含めた草の利活用を検討しています。

ご質問をいただいた事柄も参考にさせていただき、検討を進めてまいります。

上記のご質問を含め、多数のアンケートを頂きどうもありがとうございました。今後もいただきましたご意見等については、広報誌づくりに活かしていきたいと考えています。

編集後記

本号のグラビアの写真には、札幌市南区定山溪にある開発局直轄管理の豊平峡ダムを掲載いたしました。背景には紅葉した山々があり、秋を感じる写真となっております。紅葉の意味は、一般的には秋になり落葉樹の葉の色が変わる現象のことですが、「紅葉」という言葉を辞書で調べると「黄葉」という言葉もあるそうです。さらに、その両方が「もみじ」という意味があるとのこと。私は「もみじ」は赤いとばかり思っていました、黄色のものも「もみじ」と表現することを今回、初めて知りました。

また、『語源由来辞典』によると、紅葉はもともと「もみち」と呼ばれ、平安時代に「もみち」は「もみぢ」と濁音化され、現在の「もみじ」へと変化したそうです。そして、古くは「黄葉」と表記されることが多く、「紅葉」や「赤葉」の表記は少なかったそうです。

紅葉は9月初旬に大雪山から始まり、徐々に標高を下げ、「紅葉前線」は南下していきます。10月の間は道内のいずれかの場所で紅葉が最盛期を迎えます。これから紅葉のシーズンに入ります。是非、みなさんも紅葉狩りに行ってみたいはいかがでしょうか。(K)

本誌へのお問い合わせは

「ほっかいどうかいわつグラフ」へのお問い合わせの方は、下記までご連絡ください。

連絡先
北海道開発局 開発監理部広報室広報第2係
札幌市北区北8条西2丁目
札幌第1合同庁舎
Tel. 011-709-2311 内線 5816

お知らせ

毎年11月11日は「公共建築の日」です。

「公共建築の日」に関連して以下のとおりイベントを実施します。

「公共建築の日」フェスティバル in 北彩都(旭川市) 9月29日(土)

「公共建築の日」フェスティバル in モエレ(札幌市) 10月13日(土)、14日(日)

モエレのフェスティバルでは、「公共建築」に関連した写真、ポスター、子ども絵画を募集していますので、是非、ご応募ください。

また、両フェスティバルにて、「ダンボールシティをつくろう!」と題し、ダンボールを利用して、みんなできれいな街をつくるイベントを行います。

応募についての詳しい内容は、以下へお問い合わせいただくか、HPをご覧ください。

お問い合わせ先: 北海道開発局営繕部営繕計画課企画係 011-709-2311 (内線 5720)
http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_eizen/eizenfes.html

(11月11日の「公共建築の日」は建築の基本的な構造を象徴する4本の柱のイメージと国会議事堂の完成(昭和11年11月)等に由来しています。)



去年のフェスティバルの様子



「防災・技術センター一般公開」を開催しました



7月6日・7日の2日間、「2007北海道開発局防災・技術センター一般公開 ~高めよう!防災意識、楽しもう!建設技術~」を同センター構内において開催しました。同センターの業務内容や役割について多くの方に知っていただくために毎年開催しており、今年も近隣住民の皆様を中心に約1,200名の方にご来場いただきました。



地震体験

会場では、初登場となった降雨体験装置による大雨体験や地震体験、水陸両用車など機械の試乗や展示のほか、職員が業務内容を紹介する「ガレージセミナー」を行いました。

来場者からは、「普段できない体験ができて良かった」「大変勉強になった」「来年もぜひ開催してほしい」との声が多く、盛況のうちに2日間を終えました。



降雨体験装置

洪水のシーズンを前に千代田新水路の竣工式を行いました



通水式テープカット

7月28日に竣工式を行った千代田新水路は、昭和10年に完成した千代田堰堤周辺が上流、下流に比べ川の断面が狭いため、洪水の流下断面を拡大する治水施設です。当日は、ご協力頂いた流域の市町村や漁業関係などの方々に、竣工式と施設見学に参加頂き、あわせて、「十勝川まつり」を行い、夏休みの子ども連れなど多くの方に施設を知って頂くことができました。



千代田新水路

新水路周辺は「十勝文化を感じ、学び、育てる空間づくり」を目的とする十勝エコロジーパークとなっています。千代田新水路でも、遡上する魚を観察することのできる「魚道観察施設」を8月から開放しており、水中の魚の様子を見ることが出来ます。

この施設の完成で洪水被害を軽減する治水はもとより、より多く十勝川を知り、親しむ場としても利用して頂きたいと考えております。